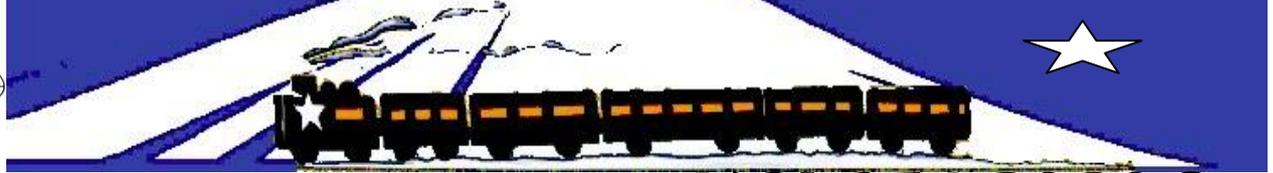




The Y's MEN's CLUB of もりおか



<VOL153.2020.9>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Jacob Kristensen (デンマーク)	「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長	David Lua (シンガポール)	「奮い立たせよう」
東日本区理事	板村 哲也 (東京武蔵野多摩)	「変化をたのしもう！」
北東部長	南澤 一右 (仙台青葉城)	「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」
もりおかクラブ会長	長岡 正彦	「暗雲をふりはらえ、きっと未来は明るい」

今月の聖句 ローマの信徒への手紙、第5章3～4



「私たちは知っているのです。苦難は忍耐を。忍耐は練達を。練達は希望を生むという事を。」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	中村 渉 (チャン)

10月定例会	日時、場所	10月10日、18時30分より アイーナ団体活動室2
卓話	現在手配中	
第二例会	10月17日、18時30分より	駅前居酒屋じよ居

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、9月も終わりが迫ってきました、コロナで明けた年もあと3か月で新年にバトンタッチします。私が会長に就任してから3か月が経ちました。ワイズの活動ができない悔しさやむなしさをいやというほど感じております。

今月もブリテン発行の時期を迎えましたが、先月同様記事不足でどうしよう

うという感じですが、もりおかクラブ20周年に向けて、唯一の記録となるブリテンは絶対発行を続けて行かなければなりません。使命感を持って発行します。すこし偉そうにかっこつけてきましたが実際のところライフワークになっておりますのでそんなにプレッシャーもありません。ようは遊び心を満載で、会員をいじり遊んでいるようなブリテンです。今月もお付き合いください。ところで今月は何かあったでしょうか、体験農場の蕎麦の収穫、富士宮焼きそばファンド、この二つですね。では行きましょう。

9月例会はお休みでした。

またまた例会は中止でした。人のせいにはしたくありませんが、人口が多い大都市圏での感染のニュースが毎日報道されています。インフルエンザが集団感染を起こしても少しニュースになりますが、新型コロナはまだ薬がはつきりと無いため不安です。全世界の研究者が必死に開発を進めています。期待して待ちましよう。

第2例会開催

9月19日、第2例会を開催しました。駅前のじよ居にて18時30分より、長岡、濱塚、加藤、三田、中村(敬称略)5名で開催でした。東日本区より配られてきた資料や、岩国南クラブの長岡が特集されたブリテンなどを肴にただの飲み会のような第2例会でした。一応、加藤農園の枝豆の収穫日程や、10月の焼きそばファンドの日程を確認してあとは楽しい時間を過ごしました。

加藤農園は9月の後半から10月の中ほどにかけて収穫になります。焼きそばファンドは、10月4日、最終回が11月1日、雫石軽トラ市になります。ご協力お願いいたします。

9月のハッピーバースデー 全国の9月生まれの方 誕生日おめでとうございます。

体験農場、蕎麦の刈り取り作業

大関靖二メン

9月22日(火)秋分の日。菟川の体験農場の蕎麦の刈り取りに行ってきました。今年は、7月12日が種まき作業でしたがあいにくの雨の為、中止となり後日協議会にて種まきをしてもらいました、7月17日でした。5日後には早くも芽が出てきたとの事です。今年は鹿や熊が例年より多く出るとの事で電牧(電気を通した配線)を農園四方に設置していました。8月の末には蕎麦の花が咲いたとの事でしたが例年になく雨が早く実がつくより早く雑草が育ってしまい収穫が期待できないとの事でした。

現地に行ってみますと、お話にて聞いていた通り雑草の中に蕎麦の実がある状態で残念な結果になってしまいました。刈り取りは協議会にて作業してくれるとの事で刈り取りに来たオーナーの人達もがっかりしていました。クラブの利用形態は全面委託(利用料5,000円)となっていて、蕎麦粉2Kgは保証されていますのでご安心ください。11月上旬に収穫祭があり、蕎麦打ち体験をしながらそば粉をもらってきたいと思っています。新型コロナの状況をみながら来年早々には蕎麦打ち例会が開催されることを祈っています。

栗石軽トラにて富士宮焼きそば販売

9月6日、富士宮焼きそばの販売に行ってきました。長岡会長、濱塚メン、盛岡YMCAボランティアリーダー6名です。宮澤秋彦さん(シュリンプ)、安恒史織さん(レモン)、星野太志さん(ゲン)、佐々木碧さん(ルイージ)、藤根奈実子さん(しゃべる)、以上8名での販売活動でした。

リーダーたちに焼き方を指導して2巡、この日長岡は一回も焼きませんでした。初体験の焼きそば調理に悪戦苦闘しながら

もおいしい焼きそばが仕上がりに、元気よく声かけ販売を行いました。どの出店者より元気がよく、うす焼き店店主が気に入って差し入れをくれました、こちらもお返しに2食差し入れ返しを行い、このような出店者同士の交流も楽しみの1つです。お祭りに飢えているので、人出が多く賑わいました。

今回は、約90食販売、益金は1万5千円でした。今年はあと2回販売を行います。どうぞ皆さまお出かけください。自慢の富士宮焼きそばをご賞味ください。

異変!、栗の実が落ちない

大変ですみなさん、栗の実が落ちてきません。例年、9月の初めから早生が落ち始め、中生が続く、奥手が落ちて大量の栗を収穫するのですが、早生の栗でさえいまだに落ちません。イガはたくさん枝についているのです。成熟しません。これはなんとしたことでしょう。我が家だけかと思ひ、ほかの栗も観察しましたが、どこの栗も同じようです。こころあたりは、梅雨が明けず夏が無かったことによるものと思います。お盆明けからいくら天気が回復しても「時すでに遅し」だったのだと思います。枝にイガのまま残っていると虫たちの餌食になります。案の定、落ちていない栗はほとんど虫食いの状態、食べられません。ほんの少し手に入

れた栗は、丹波栗のくせに小粒で山栗のようです。このまま、今年は無栗の秋になってしまうのでしょうか?遅くてもいいから、残っているイガが成熟して落ちてほしいものです。



もうすぐ10月なのに、緑色のイガたち、どうしたのお?

またまた登場、カモシカ3頭の一家?



もうカモシカの記事は書かないと宣言したのに、どうしても書かねばならぬ出来事が発生しました。通常単独行動のカモシカですが母と子の2頭ずれはあるようです。しかし、なんと3頭立てで登場しました。長くカモシカと付き合いきましたが、3頭で登場したのは初めてです。そうとう珍しいのではないのでしょうか。名前は「モシカ」「モニカ」と名付けていましたが、3頭目は「サンク」とでも名付けましょうか。見た目はずんぐりのカモシカです、かわいいとは言いませんが、

こんな住宅街まで近づいて姿を見せてくれます。慣れるととてもかわいいのです。また遊びに来るのを楽しみに待っています。栗拾いのため刈りはらった後に出てきた草の新芽を食べていました。秋口に新しい草はごちそうでしょうかね。



たぶん顔が見えない子が3頭目の「サンク」でもこんなに顔が白い親いたかな?

編集後記

どうしてもカモシカから離れる事ができません、だって3頭立て

ですよ。専門家の意見を聞きたいです。つがいと子供だったら嬉しいのですが、母と長女と妹のような気がします。